

# ウクライナ、領土奪還0.1%

## 反攻1カ月 投入部隊2割、主力温存

### 弱点見極め突破探る

【ウィーン11日中孝幸】ウクライナ軍が領土奪回に向けた反攻攻勢を開始して1カ月がたった。南部や東部で徐々に進軍しているが、これまで戦場に投入した部隊は全体の2割程度にとどまる。制空権は確保できておらず、強固なロシアの防衛陣地の弱点を見極め、主力部隊で一気に突破口を開く戦略を描いているようだ。

ウクライナ国防省の31日の発表によると、1カ月の進軍で奪回した南部の領土は1万8千4平方キロメートル、東京23区の4分の1の広さにも満たない。ロシアが奪還を掲げるウクライナ領土全体の0.1%に過ぎない。

進軍が思うように進んでいないことはゼレンスキー大統領も認めている。6月末の米紙ワシントン・ポストのインタビューで「この種の作戦は非

常に困難だ」とも指摘し、進軍を困難にしている最大の要因は、長射程の攻撃力や空軍力で劣っていることだ。ロシア軍は攻撃ヘリや軍用機に加え、ウクライナ軍の防空射撃圏外から攻撃できる大量の「誘導爆弾」を投入。ロシアの防衛線突破

を目指すウクライナ軍部隊に損害を与え続けている。ウクライナ軍には野戦膠着状態に陥れば、西側

部隊を守る短距離防空システムが不足しており、F16など長射程の攻撃機を持つ戦闘機もまだ供与されていない。オランダなど欧州の複数の国はウクライナへのF16の提供に前向きな姿勢を示すが、訓練などに時間がかかるため「今回の攻勢の間には利用できない」とウクライナ側は主張している。

一般的に攻撃側の損耗率は防御側の倍以上とされる。制空権を確保していない状態ではさらに厳しい戦いになるが、ウクライナ側は秋までに目に見える戦果を上げる必要に迫られている。戦線が

膠着状態に陥れば、西側部隊を守る短距離防空システムが不足しており、F16など長射程の攻撃機を持つ戦闘機もまだ供与されていない。オランダなど欧州の複数の国はウクライナへのF16の提供に前向きな姿勢を示すが、訓練などに時間がかかるため「今回の攻勢の間には利用できない」とウクライナ側は主張している。

一般的に攻撃側の損耗率は防御側の倍以上とされる。制空権を確保していない状態ではさらに厳しい戦いになるが、ウクライナ側は秋までに目に見える戦果を上げる必要に迫られている。戦線が

膠着状態に陥れば、西側部隊を守る短距離防空システムが不足しており、F16など長射程の攻撃機を持つ戦闘機もまだ供与されていない。オランダなど欧州の複数の国はウクライナへのF16の提供に前向きな姿勢を示すが、訓練などに時間がかかるため「今回の攻勢の間には利用できない」とウクライナ側は主張している。

一般的に攻撃側の損耗率は防御側の倍以上とされる。制空権を確保していない状態ではさらに厳しい戦いになるが、ウクライナ側は秋までに目に見える戦果を上げる必要に迫られている。戦線が

膠着状態に陥れば、西側部隊を守る短距離防空システムが不足しており、F16など長射程の攻撃機を持つ戦闘機もまだ供与されていない。オランダなど欧州の複数の国はウクライナへのF16の提供に前向きな姿勢を示すが、訓練などに時間がかかるため「今回の攻勢の間には利用できない」とウクライナ側は主張している。

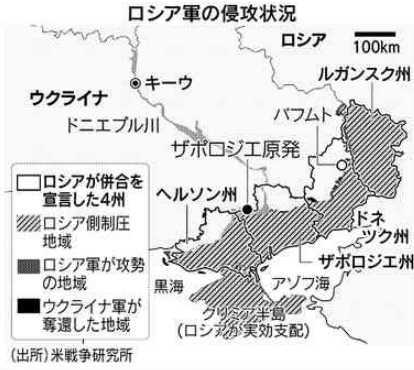
一般的に攻撃側の損耗率は防御側の倍以上とされる。制空権を確保していない状態ではさらに厳しい戦いになるが、ウクライナ側は秋までに目に見える戦果を上げる必要に迫られている。戦線が

膠着状態に陥れば、西側部隊を守る短距離防空システムが不足しており、F16など長射程の攻撃機を持つ戦闘機もまだ供与されていない。オランダなど欧州の複数の国はウクライナへのF16の提供に前向きな姿勢を示すが、訓練などに時間がかかるため「今回の攻勢の間には利用できない」とウクライナ側は主張している。

一般的に攻撃側の損耗率は防御側の倍以上とされる。制空権を確保していない状態ではさらに厳しい戦いになるが、ウクライナ側は秋までに目に見える戦果を上げる必要に迫られている。戦線が

膠着状態に陥れば、西側部隊を守る短距離防空システムが不足しており、F16など長射程の攻撃機を持つ戦闘機もまだ供与されていない。オランダなど欧州の複数の国はウクライナへのF16の提供に前向きな姿勢を示すが、訓練などに時間がかかるため「今回の攻勢の間には利用できない」とウクライナ側は主張している。

一般的に攻撃側の損耗率は防御側の倍以上とされる。制空権を確保していない状態ではさらに厳しい戦いになるが、ウクライナ側は秋までに目に見える戦果を上げる必要に迫られている。戦線が



2日、ロシア軍から奪還したザポロジエ州の村に入ったウクライナ軍の兵員＝ロイター

で早期停戦に向けてウクライナに妥協を求める圧力が強まりかねないためだ。ワシントン・ポストの報道によると、ウクライナ高官は6月に同国を訪問した米中央情報局（CIA）のバーンス長官に対し、主要な領土は秋までに奪回し、その後停戦交渉を開始する考えを示した。戦闘の長期化を懸念する西側の立場に理解を示しつつ、軍事支援の拡大を促す思惑が透ける。

物量で優位にあるロシアは守りを固めて持久戦に持ち込むことで、西側のウクライナへの「支援疲れ」が広がることを期待する。英国国防省は4日、ウクライナ軍が反攻のために編成した12旅団のうち前線に投入したのは3つ程度にすぎない。米戦争研究所は4日の戦況分析で「ウクライナの現示していない」と指摘し、「戦略分析センター長はシリア軍の脆弱な地点をみれば断固として進軍し、ウクライナ軍は非常に作戦にたけており、切りしようとするだろう」と断言している。

ウクライナ軍は今後、南部の前線でロシアの防御が手薄な地点を特定し、航空戦力を混乱させ、航空戦力を混乱させ、主力で電撃的に残りの主力で突破口を開こうとする可能性が高い。ロシア軍はザポロジエ州など南部に全長120キロ、幅10キロともされる堅固な防衛陣地を築いたが、守りに当たる兵員は不足している。

ウクライナ軍が反攻のために編成した12旅団のうち前線に投入したのは3つ程度にすぎない。米戦争研究所は4日の戦況分析で「ウクライナの現示していない」と指摘し、「戦略分析センター長はシリア軍の脆弱な地点をみれば断固として進軍し、ウクライナ軍は非常に作戦にたけており、切りしようとするだろう」と断言している。

ウクライナ軍は今後、南部の前線でロシアの防御が手薄な地点を特定し、航空戦力を混乱させ、航空戦力を混乱させ、主力で電撃的に残りの主力で突破口を開こうとする可能性が高い。ロシア軍はザポロジエ州など南部に全長120キロ、幅10キロともされる堅固な防衛陣地を築いたが、守りに当たる兵員は不足している。

ウクライナ軍が反攻のために編成した12旅団のうち前線に投入したのは3つ程度にすぎない。米戦争研究所は4日の戦況分析で「ウクライナの現示していない」と指摘し、「戦略分析センター長はシリア軍の脆弱な地点をみれば断固として進軍し、ウクライナ軍は非常に作戦にたけており、切りしようとするだろう」と断言している。

ウクライナ軍は今後、南部の前線でロシアの防御が手薄な地点を特定し、航空戦力を混乱させ、航空戦力を混乱させ、主力で電撃的に残りの主力で突破口を開こうとする可能性が高い。ロシア軍はザポロジエ州など南部に全長120キロ、幅10キロともされる堅固な防衛陣地を築いたが、守りに当たる兵員は不足している。

ウクライナ軍が反攻のために編成した12旅団のうち前線に投入したのは3つ程度にすぎない。米戦争研究所は4日の戦況分析で「ウクライナの現示していない」と指摘し、「戦略分析センター長はシリア軍の脆弱な地点をみれば断固として進軍し、ウクライナ軍は非常に作戦にたけており、切りしようとするだろう」と断言している。

ウクライナ軍は今後、南部の前線でロシアの防御が手薄な地点を特定し、航空戦力を混乱させ、航空戦力を混乱させ、主力で電撃的に残りの主力で突破口を開こうとする可能性が高い。ロシア軍はザポロジエ州など南部に全長120キロ、幅10キロともされる堅固な防衛陣地を築いたが、守りに当たる兵員は不足している。

ウクライナ軍が反攻のために編成した12旅団のうち前線に投入したのは3つ程度にすぎない。米戦争研究所は4日の戦況分析で「ウクライナの現示していない」と指摘し、「戦略分析センター長はシリア軍の脆弱な地点をみれば断固として進軍し、ウクライナ軍は非常に作戦にたけており、切りしようとするだろう」と断言している。

ウクライナ軍は今後、南部の前線でロシアの防御が手薄な地点を特定し、航空戦力を混乱させ、航空戦力を混乱させ、主力で電撃的に残りの主力で突破口を開こうとする可能性が高い。ロシア軍はザポロジエ州など南部に全長120キロ、幅10キロともされる堅固な防衛陣地を築いたが、守りに当たる兵員は不足している。

ウクライナ軍が反攻のために編成した12旅団のうち前線に投入したのは3つ程度にすぎない。米戦争研究所は4日の戦況分析で「ウクライナの現示していない」と指摘し、「戦略分析センター長はシリア軍の脆弱な地点をみれば断固として進軍し、ウクライナ軍は非常に作戦にたけており、切りしようとするだろう」と断言している。

ウクライナ軍は今後、南部の前線でロシアの防御が手薄な地点を特定し、航空戦力を混乱させ、航空戦力を混乱させ、主力で電撃的に残りの主力で突破口を開こうとする可能性が高い。ロシア軍はザポロジエ州など南部に全長120キロ、幅10キロともされる堅固な防衛陣地を築いたが、守りに当たる兵員は不足している。